

受験番号

名前

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①ピラミッドの建造は、石積みにはじまり、石積みが終わるといっても②過言ではありません。労働者たちのほとんどが、作業にたずさわっているあいだ、ただひたすら石を運び、積み上げていたのです。機械も科学的な測量器具もない時代にたいへんなことです。

(A) 労働者たちは、ヘロドトスの言うように奴隷のように強制的にはたらかされていたのではないようです。古代エジプトの国民の大半は農民だったのですが、大ピラミッド建造は三カ月交替でおこなわれていたために、彼らの農業にさしつかえることは、ほとんどなかったのです。

ピラミッド建造でもっとも人数を必要とする石運びは、主にナイルの氾濫期におこなわれていました。これは増水によって川幅が広がり、石を積んだいかだを現場の近くに運ぶことができたからです。そして③この時期は耕地が水にひたたり、農耕が不可能なときでした。(B)、失業状態にある農民たちはよるこんでピラミッド建造に参加したのです。ピラミッド建造にたずさわる者には、衣食住のすべてが与えられていたのです。

また、④こうした実際的な条件にくわえて、国民が大ピラミッドの建造によるこんで参加する理由がありました。それは(C)です。

すでに述べたように、古代エジプト、とくに古王国時代には、王は神と同一視されていました。王は生きています。王は神と同様の絶対的な権力をもち、死後は神となって永遠に生きつづけると考えられていたのです。そして国民は、こうした宗教的な考えになんの疑問ももちませんでした。ピラミッド建造は、王が死後、永遠に生きるための家づくりでした。当時の人々は王のために働くことで、王の永遠の命の御利益にあずかれると信じていたにちがいません。

古代の石切り場には、当時の石工たちが書いたと思われるいたずら書きが残っています。それらは「王バンザイ」「家に帰ったら、たらふくパンを食べて、ビールをたくさん飲もう」というように、王をたたえたり、楽しい生活を表現したものがばかりです。こうしたいたずら書きこそ⑤大ピラミッドの建造にたずさわった、古代エジプトの国民の気持ちをいちばんよくあらわしているのではないのでしょうか。

※ヘロドトス：古代ギリシャの歴史家 ※ナイル：エジプトを流れる大河

(「ピラミッドの謎」 吉村 作治)

問一 ①「ピラミッド」とは何であったと筆者は考えていますか。文章中からぬき出しなさい。

( )

問二 ②「過言ではありません」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 大げさではない      イ はっきりしない      ウ 意味がない      エ 正しくない

問三 (A) (B) に入る適切な言葉を次から一つずつ選び、記号に○をつけなさい。

A : ア だから      イ しかし      ウ なぜなら      エ さて

B : ア しかし      イ なぜなら      ウ 一方で      エ したがって

問四 ③「この時期」が指している内容を文章中からぬき出しなさい。

( )

問五 ④「こうした実際的な条件」の内容をまとめた文の㉞㉟に入る言葉を文章中から五字以内でぬき出しなさい。

- ・ 大ピラミッド建造は㉞ ( ) ( ) でおこなわれたため、農作業にほとんどさしつかえがなかったこと。
- ・ 人手が必要な石運びがおこなわれるナイルの氾濫期は、農民が㉟ ( ) ( ) にあったこと。
- ・ ピラミッド建造にたずさわる者には、㉞ ( ) ( ) のすべてが与えられたこと。

問六 (C) に入る言葉を文章中から二字でぬき出しなさい。 ( )

問七 ⑤「大ピラミッド」国民の気持ち」はどのようなものだと筆者は考えているか。文章全体をふまえて答えなさい。

( )

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

カレー皿に顔をつっこむようにしてスプーンを動かしていたら、お父さんが、「まだおこってるのか。」

と、笑いながら言った。

「ひろしもけっこう根気あるんだなあ。」

根気とは、ちよつとちがうと思う。どっちにしても、返事なんか、しないけど。

「この前、いきなりコードぬいちゃって、悪かったなあ。」

あっさりあやまられた。最初の予定では、これでぼくもあやまれば仲直り完了。——のはずだったけど、ぼくはだまっただままだった。

「でもな、一日三十分の約束を守らなかったのは、もつと悪いよな。」

分かっている、それくらい。でも、①分かっていることを言われるのがいちばんいやなんだってことを、お父さんは分かっている。

「で、どうだ。学校、最近おもしろいか。」

ああ、もう、そんなのどうだっていいじゃん。②言葉がもやもやとしたけむりみたいになって、むねの中にたま

知らん顔してカレーを食べ続けたら、お父さんもさすがにあきらめたみたいで、そこからはもう話しかけてこなかった。

「お父さんウィーク」の初日は、そんなふうにおしゃべりすることなく終わった。

次の日の夕食も、カレー。ゆうべの残りを温め直して食べた。ふつうのカレーだと、一晩おくとこくが出ておいしくなるけど、特製カレーのあまったるさは変わらない。

「なあ、ひろし、いいかげんにきげん直せよ。しつこすぎないか。」

お父さんは、夕食のとちゅう、ちよつとこわい顔になって言った。ぼくも本当は、もう仲直りしちやおうかな、と思っていたところだった。でも、先手を打たれたせいで、③今さらあやまれなくなった。ここであやまると、いかにもお父さんにまたしかられそうになったから——みたいで、そんなのいやだ。

「もしもうし、ひろしくうん、聞こえてますかあ。」

お父さんはのひらをメガホンの形にして言ったけど、ぼくがだまっただままなので、今度はまた④おっかない顔にもどって、

「⑤いいかげんにしろ。」

とにらんできた。

ぼくはかたをすぼめて、カレーを食べる。おいしくないのに、ぼくぼく、ぼくぼく、休まずに食べ続ける。

自分でもこまっている。なんでだろう、と思ってる。今までなら、あっさり「ごめんなさい。」が言えたのに。もっとすなおに話せてたのに。特製カレーだって、三年生のころまでは、すごくおいしかったのに。

二人でだまってお皿を片づけているとき、お父さんは、

「頭が痛いなあ。」

とつぶやいて、大きなくしゃみをした。

かぜ、ひいたんじゃないの——。

薬を飲んで、早くねたほうがいいんじゃない——。

⑥言いたかったけど、言えなかった。

問一 ①「分かっていることを言われるのがいちばんいやなんだ」とありますが、「分かっていること」とはどういうことですか。

|      |    |
|------|----|
| 受験番号 | 名前 |
|------|----|

問二 ②「言葉がもやもやとしたけむりみたいになって、むねの中にたまる。」とはどういうことを表現していますか。次から選び、記号に○をつけなさい。

ア 心の中で申しわけないと思っていること。      イ 心の中で笑いたいのをがまんしていること。  
ウ 心の中で泣きたいと思っていること。      エ 心の中でいらだつ気持ちがふくらんでいること。

問三 ③「今さらあやまれなくなった」とありますが、それはなぜですか。

( )

問四 ④「おっかない顔」とありますが、これと同じようなお父さんの表情を表している言葉を八字でぬき出しなさい。

( )

問五 ⑤「いいかげんにしろ」とありますが、お父さんはぼくに対してどういうことを言っているのですか。次から選び、記号に○をつけなさい。

ア カレーを全部食べるべきだということ。      イ きげんを直すべきだということ。

ウ 口ごたえをするのをやめるべきだということ。      エ お父さんの手伝いをすべきだということ。

問六 ⑥「言いたかったけど、言えなかった。」のはどういう言葉ですか。一つ答えなさい。

( )

( )

問七 この文章から読み取れる「ぼく」の様子に合うものを選び、記号に○をつけなさい。

ア お父さんに対してなぜかすなおになれずにいる。      イ お父さんへの反感が、一日たつて強くなっている。

ウ お父さんと、仲直りができる気持ちになっている。      エ お父さんのことが好きでたまらない。

三 次のぼう線部を漢字に直しなさい。(送り仮名が必要な場合は送り仮名も書くこと)

① ロケットの打ち上げの成功をカクシンする ( )

年々、技術がカクシンされていく ( )

② 祖父の墓に花をソナエル ( )

天気予報を見て、台風にソナエル ( )

四 次の( )に当てはまる言葉を選び、記号で答えなさい。

① 彼のがんばりには( )が下がる。

② 大事な話には( )をかたむける。

③ 友達と( )を割って話をする。

ア 耳    イ 目    ウ 頭    エ 顔    オ 肩    カ 腹

